

待 陵 通 信 第 32 号

平成 26 年 6 月 4 日
(敬称略)

① 訃 報 平成 26 年 3 月 31 日以降に判明した方々 謹んでご冥福をお祈り致します。

11 理乙	七川 歆次	平成 26 年 4 月 21 日	芦屋市
20 理 2	松本 昭	平成 13 年 10 月 22 日	羽曳野市
20 理 2	本橋 信房	平成 23 年 12 月 26 日	河内長野市
20 理 3	松下 豊	平成 25 年 12 月 28 日	尼崎市

② 住居変更

13 理甲 蜂谷 謙一 〒 604-0044 京都市中京区御池通小川西下古城町 398
ロイヤルプラザ御池 802 電話 0 7 5 - 2 5 5 - 6 1 2 0

③ 午餐会・懇話会

- * 第 1 回浪高七日会 (通算第 511 回午餐会) 26 年 4 月 7 日 (月) 正午～13 時 20 分
於 中央電気倶楽部 大食堂
出席者 17 理甲 2 松山敏彦・山本昭夫・19 理甲 3 三浦昭二郎・20 文乙池口金太郎
20 文乙城野伊一郎 21 文甲 1 真銅孝三・文甲 2 露口佳彦・文乙富田三郎
21 理 2 武田晃世・前田泰敬・理 4 川島康生・22 理 2 松浦實・事務局 阪田訓子
以上 14 名
- * 第 2 回浪高七日会 (通算第 512 回午餐会) 26 年 5 月 7 日 (水) 正午～13 時 20 分
於 中央電気倶楽部 大食堂
出席者 15 理甲三木卓一・17 理甲 2 松山敏彦・18 理甲 4 高岸宗吾・理乙橋田進
20 文乙城野伊一郎・理 2 鶴岡誠・21 文甲 1 頼川勉二・真銅孝三・理 2 武田晃世
21 理 2 前田泰敬・22 理 3 井上達明・理 4 大路清嗣 以上 12 名
6 月の七日会は 7 日が金曜日で電気倶楽部会員の例会で貸し切りになるため
9 日 (月) に繰り延べしますのでお間違いのないようお願いします。
電気倶楽部のきまりにより、襟のあるシャツまたは上衣着用でお願いします。

④ 各地寮歌祭

* 連絡なし

⑤ 支部だより

* 関東浪高会

5 月午餐会 26 年 5 月 12 日 (月) 正午～14 時 30 分 於 新橋「かに道楽」
出席者 12 文乙平井廸郎・理乙出羽皎・16 理 1 清岡繁夫・19 理甲 2 武田聰光
19 理甲 4 藤田宏・20 文乙阪本亮・21 文甲 1 徳久俊彦・文甲 2 田中昂・中川種寿
22 文甲 1 近久達男・文乙亀田一彦 以上 11 名
冒頭、3 月 8 日の本部午餐会 Farewell Party の際の川島同窓会長による母校誕生の歴史についてのスピーチのコピーを参加者に配布、これは、平成 22 年 9 月の創立 85 周年記念祭で、川島会長からの挨拶の中で話があったものであるが、今回詳しく記述されているので、そろそろ同窓会活動も終焉が近くなっていることでもあり、記憶に留めて置くことも意義あることと考え、出席者に一読を薦めた。
当日の論議のテーマとして、昨今、国会議員の間でさかんに議論されている憲法解釈の見直しによる「集団的自衛権」の行使容認論について各自の考えを問うた処、尖閣諸島の有事は国難といえるが、戦時生活の体験者である我々は、戦争は絶対反対、中国崩壊論、日本衰退論など様々な意見が出て、焦点が拡散したような格好になったが、結局、要件限定による、「集団的自衛権」行使容認止むを得ないという方向のようであった。

* 阪南支部二木会

- 第 355 回 26 年 4 月 10 日 (木) 13 時～13 時 45 分 於 堺東 割烹「新藤」
出席者 18 理甲 4 高岸宗吾・20 理 1 大塚穎三・理 2 鶴岡誠・21 理 2 武田晃世
6 文甲遺岩根正尚 以上 5 名
昼食後、堺市役所 21 階展望喫茶「ミ・エール」に席を移し、ケーキセットを取り懇談
元「本店 嶋川」店長の河中初代さんが合流

堺市内が一望できるはずが、春霞にスギ花粉・黄砂とPM 2.5 が加わって、視界不良。新名所のあべのハルカスも現れたり消えたり、文字通りハルかにカスんでいる有様であった。先頃市役所玄関横に「O 1 5 7」犠牲者の追悼碑が建立されたので立ち寄った。

- ・第 356 回 26 年 5 月 22 日（木）13 時～13 時 45 分 於 堺東 割烹「新藤」
出席者 20 理 1 大塚穎三・理 2 鶴岡誠・6 文甲 遭岩根正尚
昼食後、前回同様堺市役所「ミ・エール」で歓談

⑥ 同期同級交歓

- * 21 会（21 回同期会）第 93 回三木会 26 年 3 月 27 日（木）正午～14 時

於 大阪第一ホテル 6 F ランスロット
話題提供 理 3 松岡賢吉 元 ダイハツ工業
テーマ 「ダンスと健康」

出席者 文甲 1 穎川勉二・真銅孝三・文甲 2 田中昂（東京）・露口佳彦・文乙 村田正孝
文乙 富田三郎・理 1 小谷剛造・山田茂樹・理 2 武田晃世・前田泰敬・理 3 後藤業明
竹原登・玉井恭二・松岡賢吉・理 4 川島康生・中原充雄・西村順三 以上 17 名
会合に先立ち、11 時より今秋の 21 会旅行会について、真銅代表世話人と旅行会世話人
（村田・中原・西村）、素案作成者田中（関東）、JTB 東・新任和田が協議した結果、
日程は 10 月 7～9 日の 2 泊 3 日、5～6 月に案内状送付の方針を決定。

- * 21 文甲 1 クラス会 26 年 4 月 17 日（木）11 時 30 分 於 神仙閣

出席者 伊藤七郎・笠原芳光・梶谷亘・真銅孝三・坪井達雄・徳久俊彦（東京）
圓井孝一（徳島）・同好子・森太郎 以上 9 名

- * 尋常科「泉石会」26 年度例会 26 年 5 月 16 日（金）11 時 30 分～16 時

於大阪マルビル 大阪第一ホテル 一次会 マーキス（Ⅱ） 二次会 マーキス（Ⅰ）
出席者 喜多舒彦・小山隆造・佐伯秀穂・斎藤顕・島雅昭夫妻・西岡邦夫・畑捨三夫妻
松山敏彦・三浦昭二郎・三角荘一・水田紀久・村田吉弘・山本昭夫夫妻・渡会信夫
（事務局 阪田訓子） 以上 18 名

昭和 18 年（1943）尋常科修了後、今までに 55 名の盟友が亡くなった。今回、物故者名簿を作り、改めて亡き友を偲び、思い出を語って、その後黙祷を捧げた。
宴会は一つの長テーブルを囲んで始まり、喜多君から「老人の生活に役立つ簡単な医療」と、松山君から「待兼山についての考察」と簡単なスピーチ等があり、皆が心おきなく自由に話し合い、二次会も含め 4 時間余りも歓談した後解散した。

⑦ 運動部・同好会だより

- * 第 59 回浪高ゴルフ会 26 年 5 月 15 日（木）大宝塚ゴルフクラブ

参加者は、19 理甲 2 米原宣夫・20 文乙 田中清・21 文乙 富田三郎・21 理 1 小谷剛造
21 理 2 丹波元吉・21 理 3 後藤業明・21 理 4 川島康生 以上 7 名

好天に恵まれたが、難コースに苦しむ中、田中氏が僅差で優勝。

2 位 富田氏、3 位 米原氏、BB 丹波氏、NP 賞は小谷、富田両氏。

次回 第 60 回は 10 月 23 日（木）同じく大宝塚ゴルフクラブにて、関東組も加えて盛大に
举行したいと考えている。奮っての参加を期待する。

■ ご案内

- * 船場大阪を語る会 第 171 回例会ご案内

日時 26 年 6 月 14 日（土）午後 1：30～4：00

会場 愛日会館 Tel 06-6264-4100 中央区本町 4-7-11

アクセス 相愛学園の二つ西の筋、阪神高速の（旧西横堀川）沿いにあります。

最寄り駅は地下鉄 本町駅（御堂筋線、中央線・四つ橋線）

講師 松村 博 氏

昭和 19 年大阪市生まれ、北野高校を経て、京都大学工学部土木工学科卒業、
大阪市役所に勤務され、主として橋梁建設を担当されました。橋梁に関する
著書多数

演題 「今昔浪華八百八橋」

会費 1,000 円（入会金、年会費不要）

連絡先 船場大阪を語る会事務局 三島佑一（22 理 2）

〒550-0014 大阪市西区北堀江 4-12-10-609 Tel・Fax 06-6532-3094